

③ サステナブルファッションの推進

<事例紹介 4>

「L ∞ PLUS を活用したマテリアルリサイクルの推進」

倉敷紡績株式会社

執行役員 技術部 部長 山内 一平

2026年 9月 8日

L[∞]PLUSを活用した マテリアルリサイクルの推進

KURABO

クラボウ (倉敷紡績株式会社) 繊維事業部

会社説明-会社概要-

KURABO

社 名 倉敷紡績株式会社 (Kurabo Industries Ltd.)
(正式社名扱い:クラボウ)

所在地 大阪本社
〒541-8581 大阪市中央区久太郎町2-4-31
TEL 06-6266-5111 FAX 06-6266-5555

東京支社
〒105-0004 東京都港区新橋6-19-15
東京美術倶楽部ビルディング6階
TEL 03-6371-1400 FAX 03-6371-1399

創 立 1888年(明治21年)3月9日

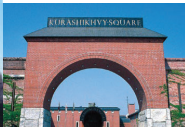
資本金 220億40百万円

代表者 代表取締役 取締役社長 西垣 伸二

従業員数 3,899人(2024年3月31日現在)
(グループ連結)

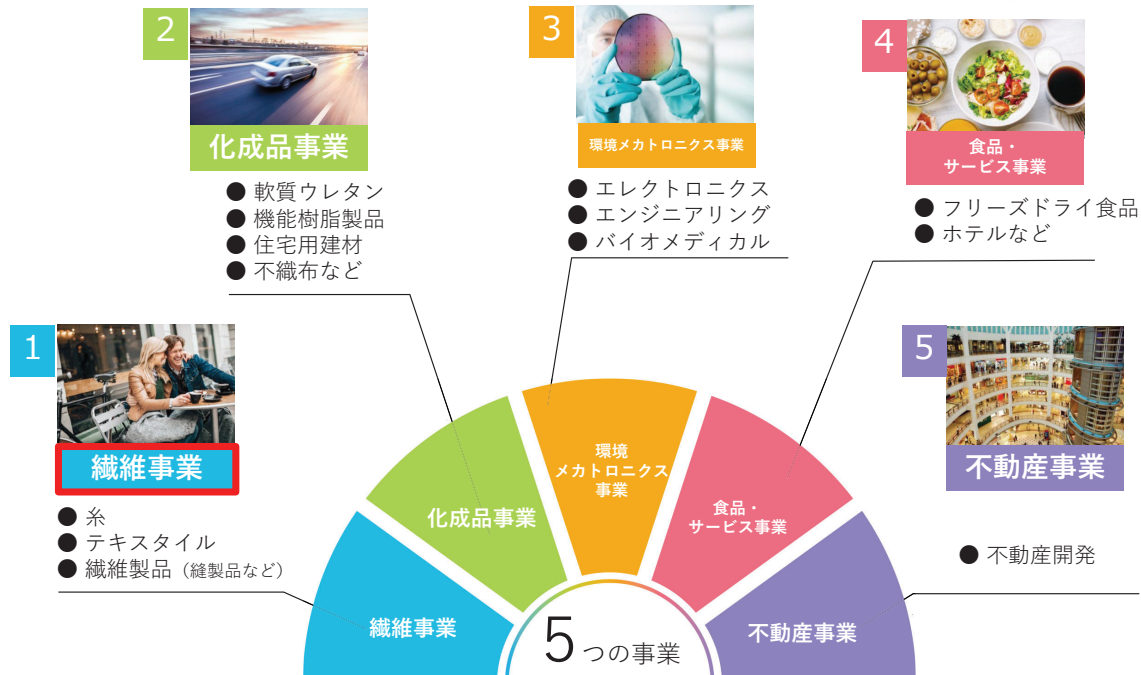
主要な事業所

区 分	名 称		所 在 地
営業所 および 研究所	大阪本社		大阪市中央区
	東京支社		東京都港区
	技術研究所		大阪府寝屋川市
工 場	繊維	TIC	愛知県安城市
		徳島工場	徳島県阿南市
	化成品	寝屋川工場	大阪府寝屋川市
		裾野工場	静岡県裾野市
		群馬工場	群馬県伊勢崎市
		鴨方工場	岡山県浅口市
		三重工場	三重県津市
		KIC	熊本県菊池市



会社説明-クラブウグループ5つの事業セグメント-

KURABO



Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

3

クラブウの環境負荷軽減への取組み

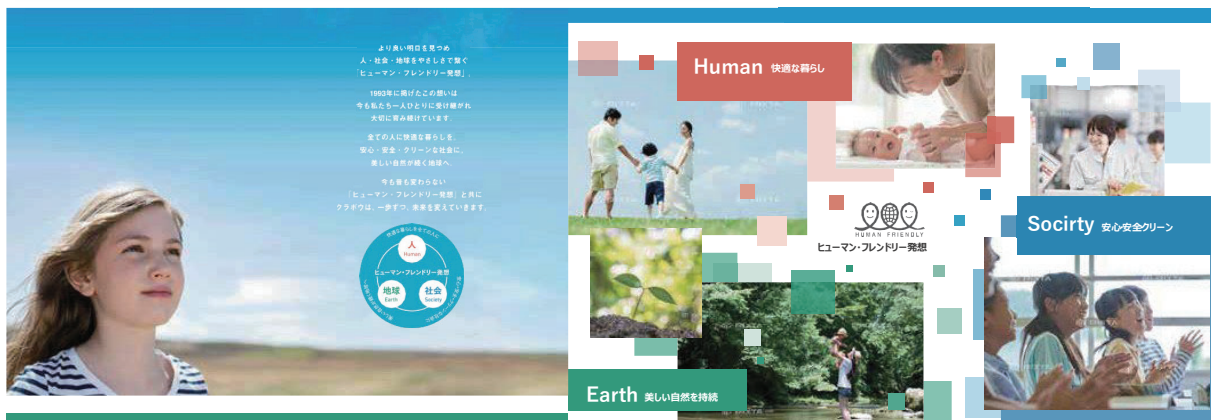
KURABO

「ヒューマン・フレンドリー発想」とは、1993年にクラブウ繊維事業部から生まれた基本理念です


ヒューマン・フレンドリー発想
～人にやさしく、地球にやさしく～
SINCE 1993

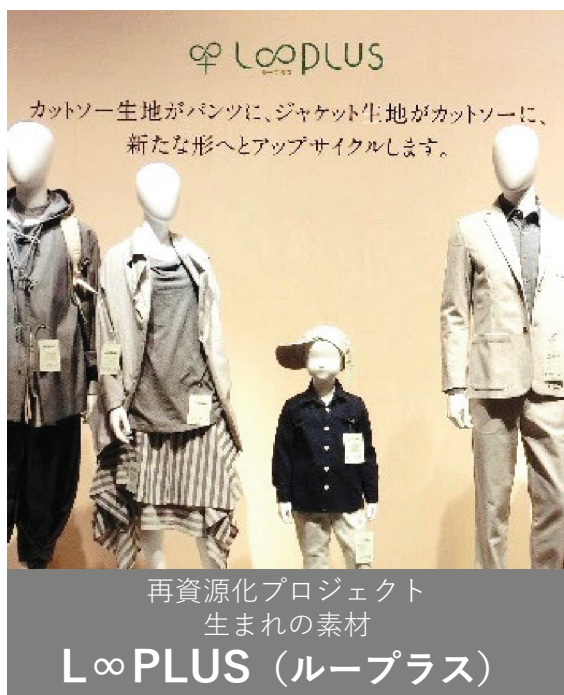
全ての人に快適な暮らしを。
安心・安全クリーンな社会に。
美しい自然が続く地球へ。
人・社会・地球、あらゆる視点から良いものを提供する。

1993▶▶▶



クラブウは人・社会・地球のより良い明日を見つめて、環境負荷の低減や自然と調和した商品の開発など、持続可能に配慮した活動に取り組んできました

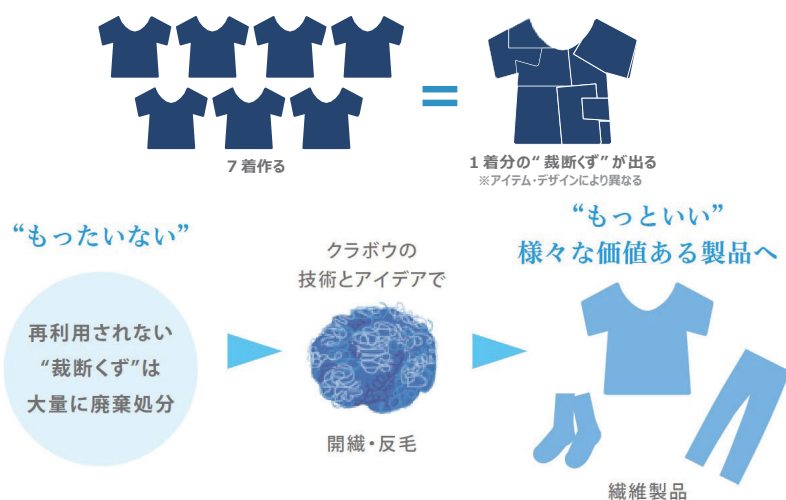
Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.



アパレル・産地との協働

服を作る時の“もったいない” 事実

服を作る時にでしまう“裁断くず”の発生率は約15%※。
つまり、服を7着作ると1着分に相当する“裁断くず”が出る計算。
再利用されない“裁断くず”は大量に廃棄処分されているのです。

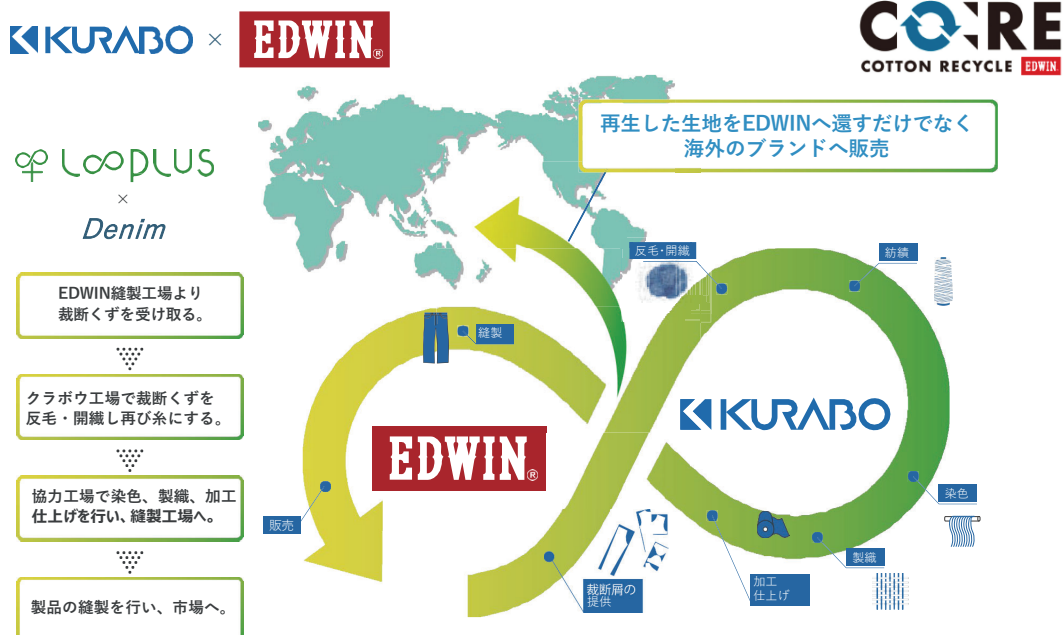


国内での最初の取り組み

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

7

EDWINのデニム裁断屑を再利用したUPCYCLING SYSTEM



Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

8

国内の各産地との取り組み

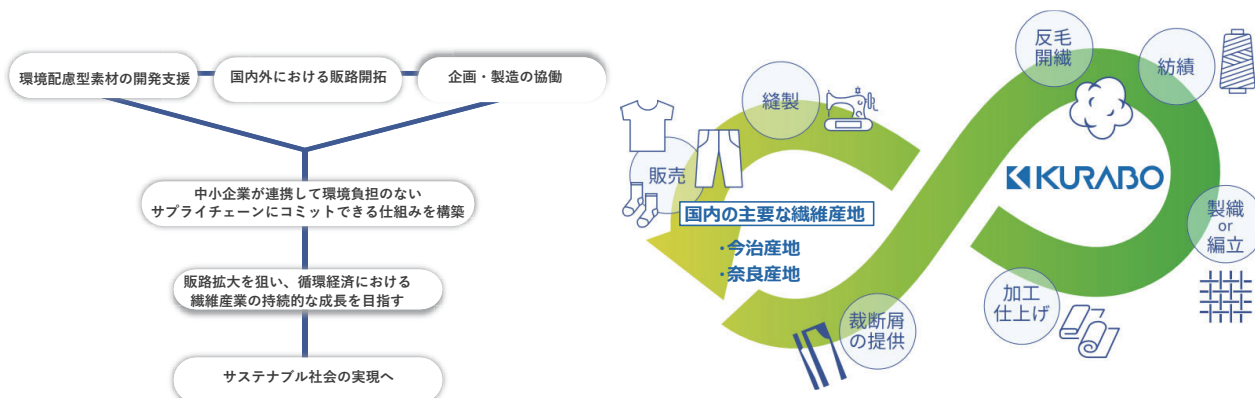
Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

9

各繊維産地との取り組み

環境配慮型素材の商品開発支援と生産の協業について
- 私たちは日本の繊維産業を応援します。 -

クラボウは、長年蓄積してきた環境配慮型素材の生産～販売に関わる知見とネットワークを活かして、中小企業の環境配慮型のモノづくりへの転換を支援することが使命であると考え、国内の主要な繊維産地と本事業を立ち上げました。



Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

10

各繊維産地との取り組み ■今治タオル
× L[∞]PLUS



今治タオル工業組合

imabari towel
Japan

Imabari Towel Industrial Association

▶ 産地連携・資源ロスの削減



今治から全国、そして世界へ。
From Imabari to the whole country and the world.

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

11

各繊維産地との取り組み ■今治タオル
× L[∞]PLUS



今治タオル工業組合

imabari towel
Japan

Imabari Towel Industrial Association

▶ 産地連携・資源ロスの削減



再資源化



Looplus
ループラス



Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

12

製品回収L ∞ PLUS

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

13

製品回収L ∞ PLUS

KURABO

中古衣料を回収し循環利用して新しい価値を創造する。

♾️ L ∞ PLUS



Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

14

トリドールHD様
タイコーコーポレーション様

との取り組み事例 ▶

企業イメージの向上と新規顧客の獲得

「つなぐ制服プロジェクト」 丸亀製麺の使用済みユニフォームを新たなユニフォームへアップサイクル



Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

15

自治体との取り組み

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

16

「生活者とL[∞]PLUS」－自治体との共創を模索

- ・ 1年間で可燃・不燃ごみに出される衣服の総量は508,000トン



焼却・埋め立てられるものの95%、484,000トン！

この廃棄衣料を少しずつでも削減できないか？



クラボウの研究所がある安城市へお声掛けし、共創による廃棄衣料の削減とともに、回収事業の出口戦略と地域活性化が両立できないかを模索中。

■愛知県安城市 × L[∞]PLUS

▶ 地域活性化・エリアでのファンづくり



■安城市「安城七夕まつり」



■クラボウ
テキスタイルイノベーションセンター
(愛知県安城市)

サステナブル技術の本拠地
ここで反毛します。

◎取り組み内容

毎年夏に実施されている「安城七夕まつり」と、クラボウのコラボプロジェクトとして、『Tシャツがタオルに生まれ変わる!? 『安城七夕まつりTシャツ回収大作戦!』が開始されています。

このプロジェクトは、市民の皆さんから集めた過去の七夕まつりTシャツをクラボウが加工・反毛し、2023年に実施される七夕まつりのボランティアに配布するタオルにアップサイクルするというものです。

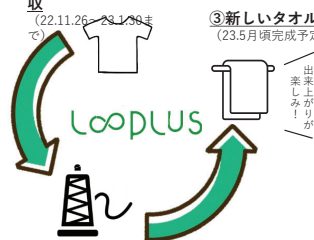
2022年12月時点では、市内各所でたくさんのTシャツが回収されており、クラボウの工場に届き次第、再資源化に向けた加工がスタートします。

①古いTシャツを回収

(22.11.26～23.1.30まで)

③新しいタオルに!

(23.5月頃完成予定)



②クラボウが加工

(23.2.1～)

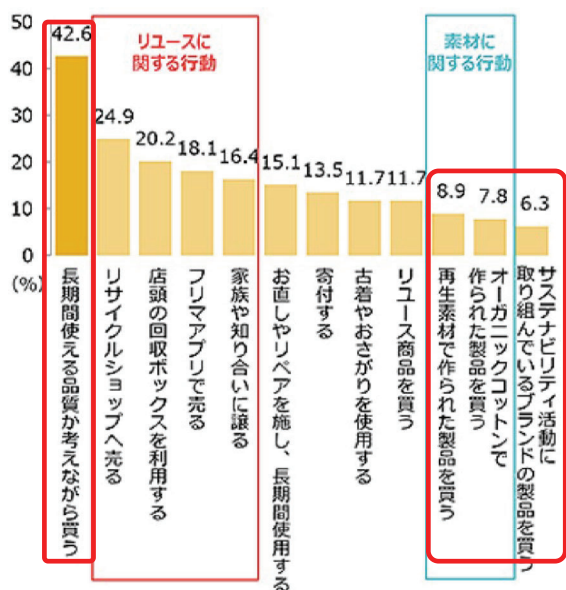
サステナブルに関する 社会の認識

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

19

* サステナブルな素材を使った衣類を購入するという意識は低いという調査結果

＜図1＞ 今後、衣類の「サステナブル」について、意識していきたいこと上位12項目（複数回答：n=1,100）



＜図2＞

衣類の「サステナブル」を取り入れる際の阻害要因（自由回答一部抜粋）（自由記述：n=1,100）

サステナブルをよく理解できていない

- 自分自身、サステナブルについてよく理解していない。
- 言葉の意味が分かっていなかった。どれだけ大切なことなのかとか重大さをよく知らない。

身近にない、身近に感じない

- 身近なお店で取り扱いがない。
- 身近で一般化していないというより、世間一般的に日時生活に広く浸透できていない

サステナブルな衣類の区別がつかない

- どれがサステナブルの商品か分からない
- 取り扱いしている店がわかりづらい

値段が高い

- 値段がまだまだ手頃ではないので、従来通りの商品を購入する機会が多い。
- 値段が高いものが多いので、購入を躊躇してしまう。

取り入れ方が分からない

- 取り入れ方と利用の仕方がわかりにくい。
- 何をすれば効果的なサステナブルなことに繋がるのか分からない

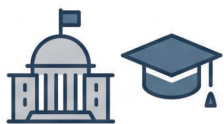
引用：クロスマーケティング
「衣類のサステナブルに関する調査2021年」

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

20

サステナビリティ「意識」と「実ビジネス」のギャップ

制度・アカデミアは活性化 / 企業・消費者の行動は伸び悩み



政府・自治体・大学：活性化

- SDGs未来都市 215都市 (全47都道府県)
- THEランキング参加79大学



企業：意欲は頭打ち

- 積極姿勢52.6% (2年連続低下)
- 成果実感47.8%にとどまる



消費者：意識と行動に乖離

- 認知度70~82%に対し行動31~59%
- 価格よりサステナ優先は1割未満

結論：制度・研究は進んでも、企業収益・消費者購買という「実ビジネス」には直結していない

出典：内閣府地方創生推進事務局／Times Higher Education／帝国データバンク(2025・2026年調査)／ニッセイ基礎研究所／ADK生活者総合調査2025／博報堂／消費者庁／電通／ロイヤリティマーケティング／文部科学省／野村総合研究所／三菱総合研究所

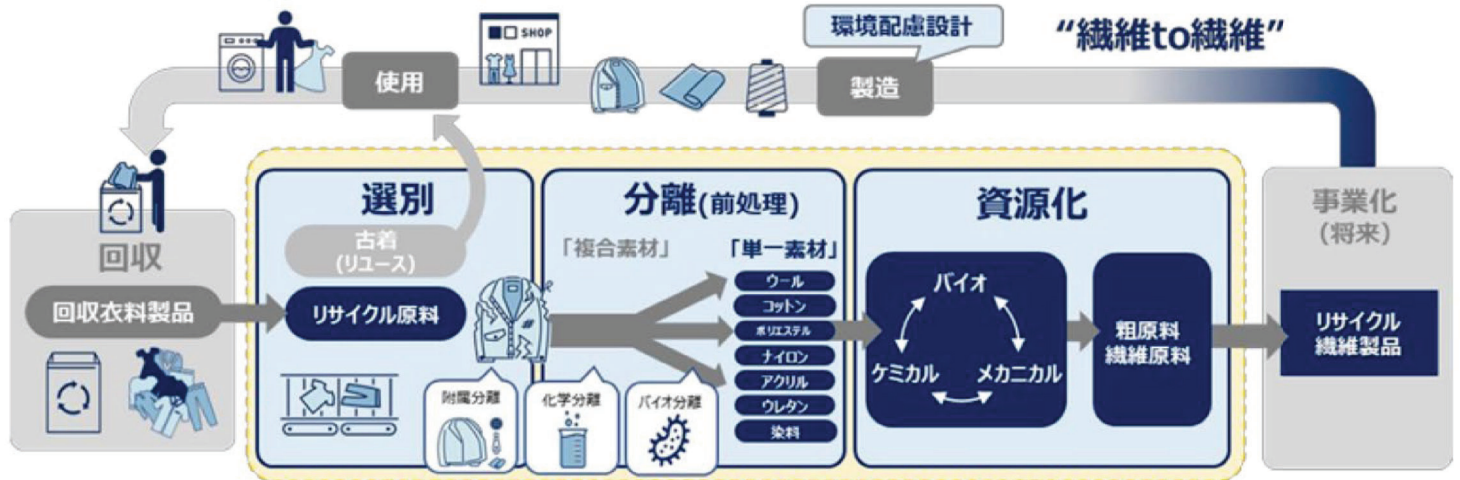
Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

21

サステナブル事業として 拡大するためには

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

22



「Consortium for Fiber to Fiber (CFT²)」による廃棄衣料品の資源循環の取組みイメージ

CFT2 繊維to繊維 資源循環構築コンソーシアム におけるクラブウの立ち位置

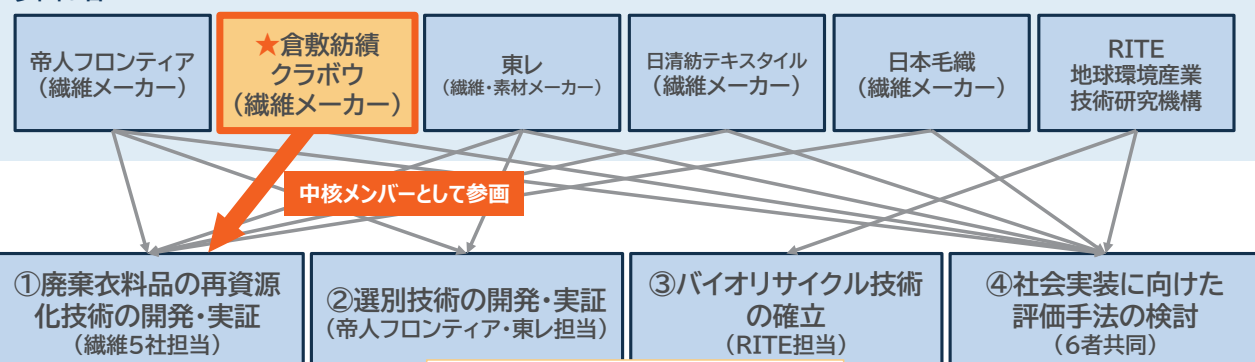
- 設立: 2025年10月27日
- NEDO バイオものづくり革命推進事業 採択プロジェクト
- 参加5社 総額約150億円拠出

年間廃棄量
約51万トン

焼却・埋立率
約65%
(約33万トン)

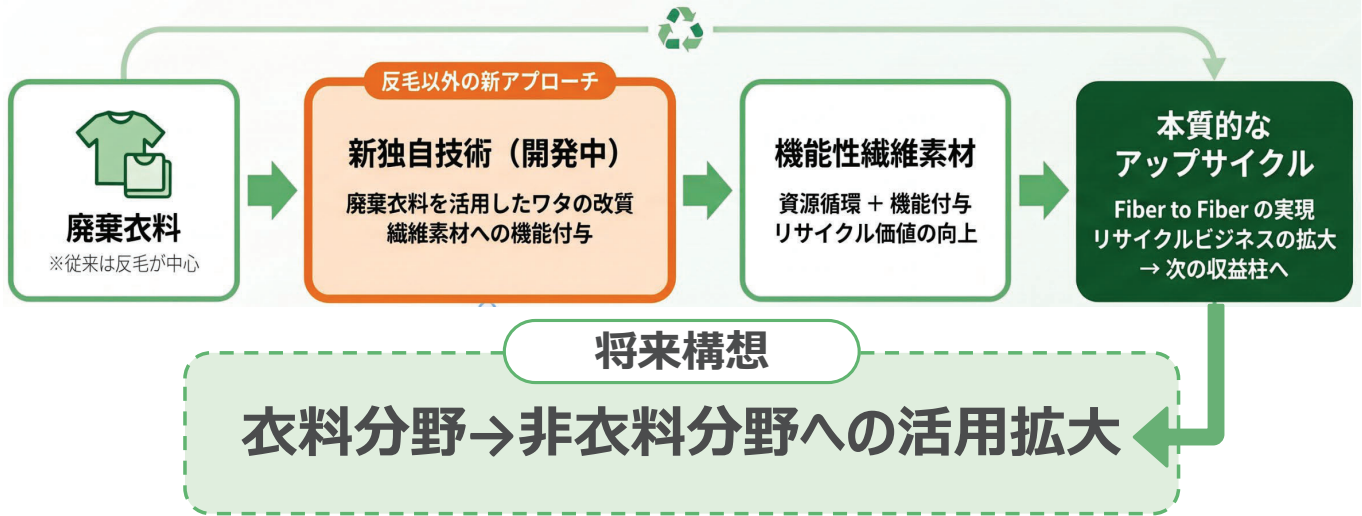
リサイクル率
約17%
(大半ダウンサイクル)

参画6者



倉敷紡績(クラブウ)は繊維企業5社の一員として、
廃棄衣料品の再資源化技術の開発・実証を担う中核メンバー

廃棄衣料を活用した新独自技術の開発 ～Fiber to Fiber で本質的なアップサイクルを実現～



資源循環に"機能"を与えることで、リサイクルビジネスの価値は変わる

Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.



∞ LooPLUS

サステナブル意識向上
のための
啓蒙活動の強化



Copyright © KURABO INDUSTRIES LTD. All Rights Reserved.

12 つくる責任
つかう責任



♾️ LooPLUS

サステナブル意識向上
のための
啓蒙活動の強化

17 パートナリツプで
目標を達成しよう



ご清聴ありがとうございました

